

## 奄美古典織物復元・創作集の発刊

大島紬部 ○恵川 美智子, 平田 清和, 徳永 嘉美

### 1. はじめに

奄美の各地にはこれまで古い織物が多数残され、紬などの絹布の他に、芭蕉布・木綿布・苧麻布などがある。織物の組織を見ても、平織・花織・浮織・ウレグシ織・裂織などがあり、織布は無地・縞・格子・緋・紋柄などがある。このように奄美は、古くから紬だけでなく多種多様な織物が盛んに織られていた大変希少な地域といえるが、現在では織られていない織物も数多く存在している。

そこで、それらの織物技法を調査・研究し、さらに現在の大島紬の技法と旧技法を組み合わせることにより、新しい方法での伝統技法の再生を試みた。

奄美の古典織物から織組織で模様を表す紋織技法の花織（両面浮織）・浮織（緯浮）を取り上げ、紋柄の復元・創作に取り組み「奄美古典織物復元・創作集」（図1）を発刊した。

なお、本研究は平成24年度緊急雇用創出事業による「古典伝統織物復元創作事業」で実施した。

### 2. 概要

#### 2. 1 奄美古典織物復元・創作集の発刊

古典織物技術の詳細について、写真や図解を多用して復元・創作集の制作を行った。

当センターで調査・収集を行った古布の中から、花織・浮織の紋柄の復元を行うとともに、参考となる柄を取り上げ創作事例として記述した。

#### 2. 2 復元・創作集の内容構成

復元・創作集の内容構成を表1に示す。復元柄の織布写真、紋柄の紋綜統設定図はカラーで記載した。



図1 奄美古典織物復元・創作集

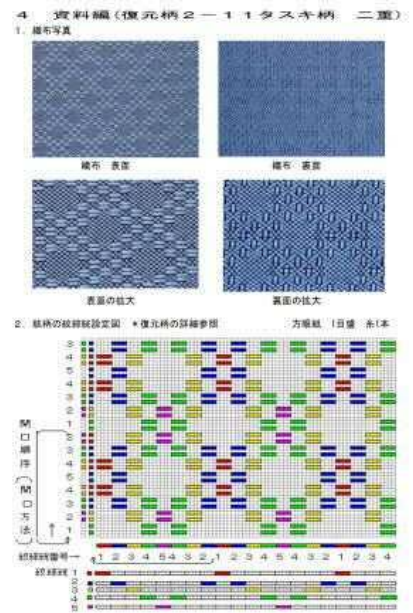
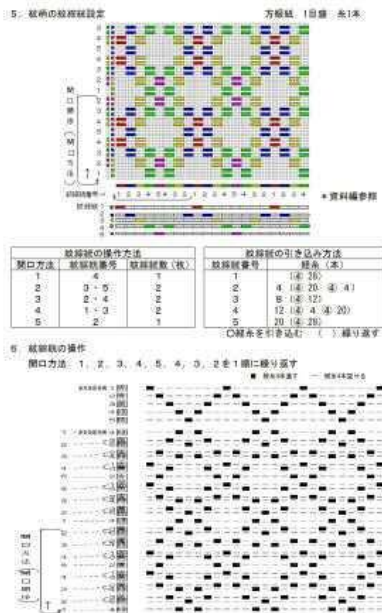
図2に、第2部：復元柄の詳細（奄美古典織物の復元事例）、第3部：創作柄の事例（復元柄1を元柄に展開した創作柄の事例）、第4部：資料編（復元柄）から内容の抜粋を示す。

表1 復元・創作集の内容構成

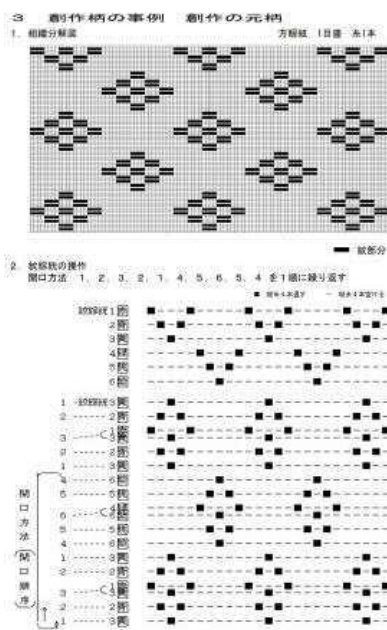
構成	内容
第1部 奄美古典織物（花織・浮織等）の解説	解説として織組織、紋柄、製織の手織機、織機の仕掛け、織方（平織・花織・浮織）を記載。
第2部 復元柄の詳細（奄美古典織物の復元事例）	復元柄の組織分解図、織物緒言、紋柄図案、組織図、紋柄の紋綜統設定、紋綜統の操作を記載。
第3部 創作柄の事例（復元柄1を元柄に展開した創作柄の事例）	創作柄の組織分解図、紋綜統の操作を記載。
第4部 資料編（復元柄）	復元柄の織布写真、紋柄の紋綜統設定図をカラーで記載。



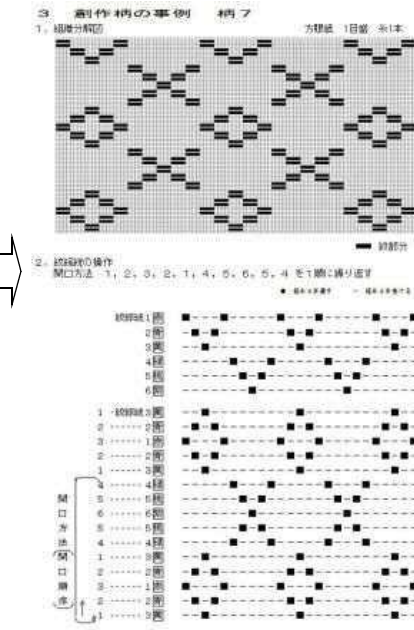
(第2部：復元柄の詳細)



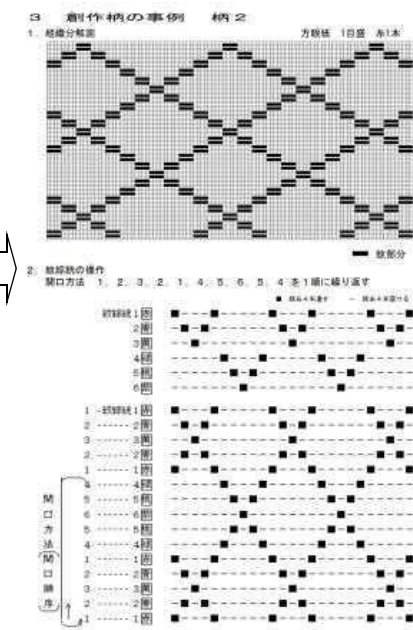
(第4部：資料編)



(創作の元柄)



(創作のバリエーション1)



(創作のバリエーション2)

(第3部：創作柄の事例)

図2 奄美古典織物復元・創作集内容からの抜粋

### 3. おわりに

奄美の古典織物の花織・浮織の紋柄は大島紬の紺と同様に、精巧で緻密な紋で柄模様を構成しており、織物の種類は異なるが柄模様表現の基本的な考え方は共通している。奄美は様々な織物技術が潜在しているので、新たな織物創出の可能性を秘めており、本集が奄美の特色を持った新たな織物へと発展展開につながることを期待したい。

本集の発刊にあたり、ご協力頂いた関係者の皆様に感謝の意を表す。